



“現状把握”から“未来をつくりだす”分析へ

従来の分析は目的物質の量をはかることが主でしたが、「お客様が困っているところに手の届く分析」「企業の研究開発のお手伝いをする社会貢献度の高い分析」を実現させるため、技術レベル向上を常に意識し、新たな分析設備の導入などにより分析サービスの幅を広げていきます。

高品質・信頼性を支えるとともに、
地球環境の保全・汚染予防に貢献する会社



「知りたい」のニーズに応え、
これまでの分析では未知だった
成分の構造が特定可能に



TOPICS 3 産業分析センター “未来をつくりだす”分析へ

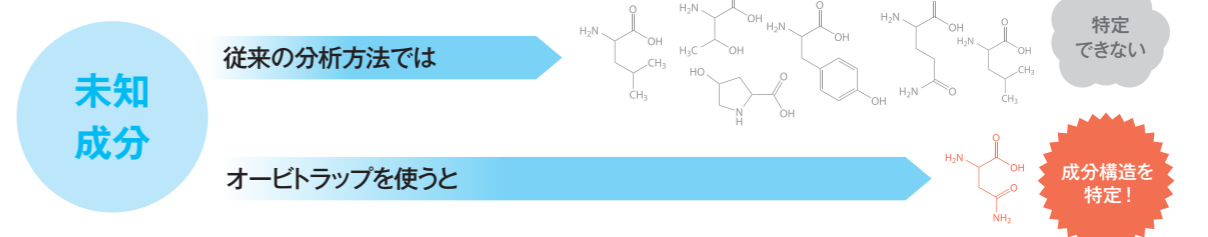
創立50周年に向けて

株式会社産業分析センター（IAS）は、前身である千住金属工業の研究部門から分社化し、2022年2月8日に創立50周年を迎えます。これまで培ってきた非鉄金属材料、環境、RoHS指令に関する高い分析技術を応用し、新たな分野の分析サービスを展開していきます。



高性能な分析装置 LC/FTMS(オービトラップ)を用いた解析

オービトラップは、“知りたい成分”の構造解析に特化した、高性能な分析装置です。従来の分析方法（装置）では、“知りたい成分”の候補を数百種類にまで絞り込むのが限界でした。オービトラップを活用することで、この“知りたい成分”が「何であるか」を特定することができます。



成分が特定できると分かること

- 化成品中成分の構造解析 → 製品の性能差確認
- 分解精製物・不純物の構造解析 → ● 不具合発生時の原因究明
● 非意図的含有成分の確認

製品の研究開発を支え、詳細な情報を得られることや不具合原因を特定できることで、製造技術の向上や新製品の開発につながります。



産業分析センターの歴史



さらなるニーズにお応えするために

常にお客様から求められている、より精度の高い分析と短納期にお応えし続けるため、今後も「より精密に」「よりスピーディーに」を理念として、最新鋭の分析設備の導入を進めていきます。現在、オービトラップ（有機化合物）に続き、無機化合物においても“前処理が不要”かつ“深さ方向分析”ができ、表面分析にも応用が可能な「レーザーアブレーション・ICP・MS」の導入を進めています。